

若者の地球温暖化問題への関心や危機感が高い？低い？

公開シンポジウム 2026
国立環境研究所

聴いて
わかる
環境研究の今、
知って
かわる
私たちの未来



現在の若者は気候変動問題を軽視している？

2024年3月に私たちは日本在住者1万人を対象に気候変動に対する意識に関するWebアンケート調査を行いました

年齢が低いほど

- ・気候変動が人為起源
- ・気候変動が悪い影響と回答しない傾向がみられました

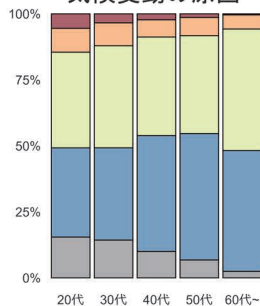
若者の気候変動問題の軽視は今だけの傾向？

- ・気候変動に関する長期的な意識の変化を知るために、既往の2つの長期的なアンケート調査を分析しました
- ・年齢（年齢が上がるとともに変化）、時代（時流による変化）、出生世代（生まれ世代による変化）の3つの効果に分けて考えました

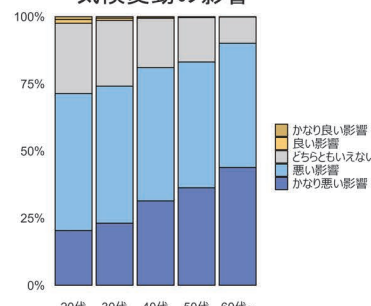
社会システム領域 古川 真莉子

共同研究者：林岳彦

気候変動の原因



気候変動の影響

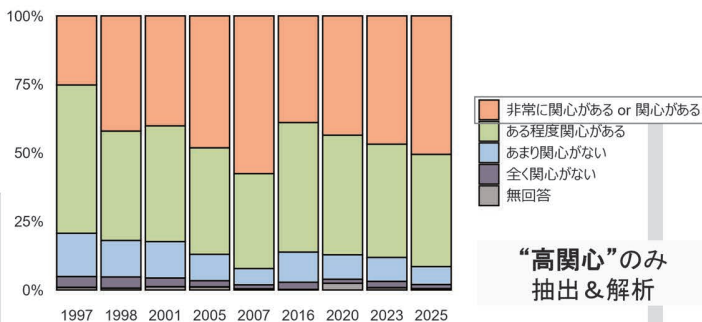


地球温暖化問題への関心

・内閣府世論調査

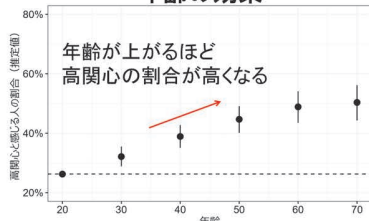
- 「地球温暖化問題に関する世論調査」(1997年)
- 「地球環境とライフスタイルに関する世論調査」(1998年)
- 「地球温暖化防止とライフスタイルに関する世論調査」(2001年)
- 「地球温暖化対策に関する世論調査」(2005、2007、2016年)
- 「気候変動に関する世論調査」(2020年、2023年、2025年)

Q. 気候変動とは、人間の活動に伴って発生する二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることによって地球の気温が上昇する「地球温暖化」や、自然の要因などによって気温や降水量などが変動することをいいます。あなたは、気候変動が引き起こす問題に関心がありますか。(2023、2025年調査)

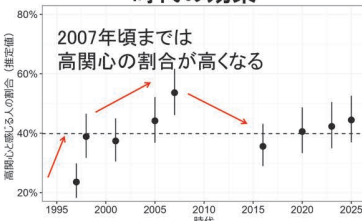


“高関心”のみ
抽出 & 解析

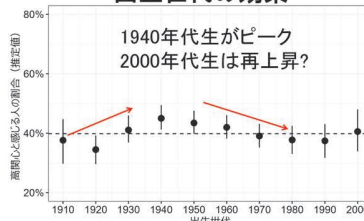
年齢の効果



時代の効果



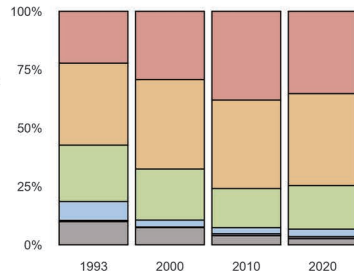
出生世代の効果



気候変動への危機感

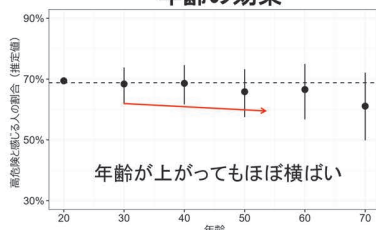
- ・国際社会調査プログラム (ISSP) の環境モジュール
実施時期：1993、2000、2010、2020年の4回
→日本データのみを抽出

Q. 一般的に、気候変動による世界的な気温の上昇は、環境にとって危険だと思いますか

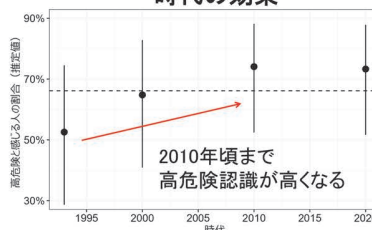


“高危険認識”のみ
抽出 & 解析

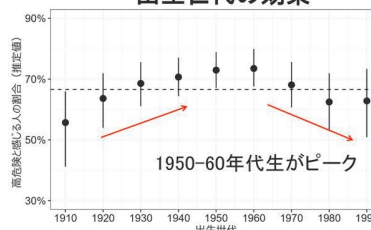
年齢の効果



時代の効果



出生世代の効果



結論

- ・若者ほど気候変動への意識が低い？
→「気候変動への関心」は若年齢ほど低く、「気候変動への危機感」は若い出生世代で低い傾向
- ・「気候変動への関心」「気候変動の危機感」とともに時代効果が大きく、2007-2010頃が最も高かった